

学会参加報告書

R21-016 大屋岳

学会名:JCR2024 (第 80 回日本放射線技術学会総会学術大会)

会場: パシフィコ横浜

参加日時:2024/4/13 (土) ,14 (日)

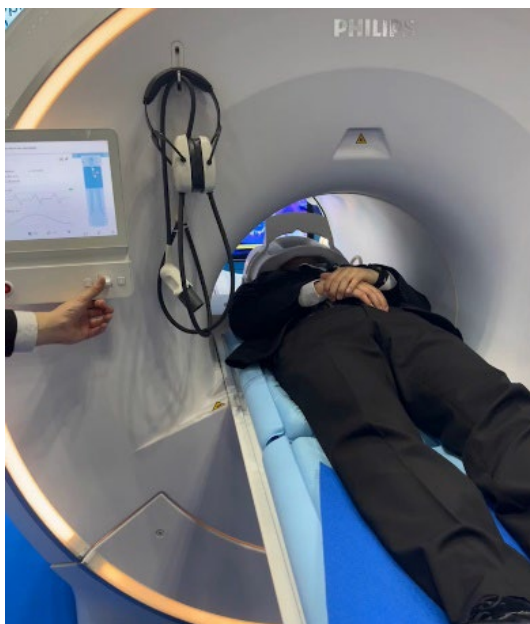
JCR2024 参加を報告する

1.国際医用画像総合展 (ITEM)

Philips MR7700 が最も印象に残った。

元々は研究用であったが、プロトン以外の原子核の検出が可能で、Na を例にあげると脂肪浮腫の検出に優れた検査ができるようになった。このような多核種イメージングを臨床に応用することを可能にする装置で、プロトン信号では得られなかった疾患や病変が描出できるだけできるようになった。

また、鏡を利用してボア内で装置の奥に設置したモニタからの映像を見る「In-bore solution」が搭載されており、圧迫感を感じにくいようになっている。息止めを促す動画や可愛い動画を流すことで閉所恐怖症の人だけでなく、小児でも安心して検査が受けられるようになっていた。また、寝台のクッションはドイツ寝具メーカーのものを使用しており、非常に柔らかく体の負担が軽減されるような作りになっていた。さらにクッションに包み込まれる様な形になるため、体動が防止できるといった利点もある。実際にこのMRI で寝てガントリの中に入ったが、映像により圧迫感を全く感じることなく、寝台が柔らかかったのでとても良い印象を持った。



2.学術、教育講演、一般演題

① ^{177}Lu 核医学治療の世界的な潮流と未来への展望 4/13（土）

この ^{177}Lu の核医学治療は核医学特論の講義でラジオセラノスティクスについて学んだことから、興味が湧き聴講した。おおまかな内容としては、日本ではまだ承認されていない ^{177}Lu -PSMA という前立腺がんに対する製剤の話だった。この PSMA は薬剤が集積すればするほど治療効果が発揮されるもので、生存率や QOL が高い核医学治療となっている。また化学療法や外科手術を行う前に、PSMA で治療しても有意な治療効果が認められるなど、他には無い術前核医学療法である。分からない単語ばかりで話について行くだけで精一杯だったが、おおまかな内容は把握することができた。

②きほんのキホンの基本～胸部画像～ 4/14（日）

学生にも分かるような優しい内容の教育講演で、どの診療放射線技師も生涯で 1 番多く撮影するだろう、胸部正面撮影（PA）についての講演だった。「優れた胸部 X 線は 1 枚で全ての肺野が観察できる」ということを初めと最初に仰っていて、この優れた胸部 X 線を撮影するための、条件などについて講演されていました。この胸部 X 線の画像、1 枚でいくつもの point があり、どの情報も欠けてはいけないので、それを常に意識しながら撮影をしている技師の方達の凄さを痛感しました。

3.参加全体の印象

わからない、知らない単語ばかりが出てくることもあったが、それでもなんとなく内容が把握できるような発表が多く、分かりやすく伝えるための工夫がいくつもあった。今までは学会での発表にほとんど興味はなかったが、この学会を通して興味が湧いた。また、この体験は良い刺激になり、国家試験勉強へのモチベーションも上がった。非常に有意義な 2 日間を過ごすことが出来た。

